

栃木県の地図を調べる

《地-4》

栃木県の各地域を収録する地図の調べ方をご紹介します。

目次

1. 調べるためのキーワード
2. 地図資料の主な種類
3. 時代や地域ごとに調べる
4. 栃木県立図書館貴重書画像データベース
5. 関係機関

1. 調べるためのキーワード

図書館の所蔵検索や各種データベースを検索する際に利用するキーワードの例です。

《キーワード》「地図」・「住宅地図」+お調べになりたい地域名 地勢図 地形図 路線価図 土地分類図 など

2. 地図資料の主な種類

○住宅地図【T290.3/11】など(館内)

建物名や建物ごとの居住者を記載している地図の総称です。当館では、株式会社ゼンリンが刊行する県内各地域の住宅地図を収集しています。

更新の頻度は、都市部は1年に1回、それ以外の地区は2～5年に1回(※)となっています。

最新版は3階地域資料室(地公)にあります。過去の版は書庫(地庫)内に保存しています。

(※)株式会社ゼンリンのウェブサイトより。

○ブルーマップ【T290.3/76】など(館内)

「住宅地図」の上に登記所備付の「公図」の内容を青い線で重ねることで、不動産登記の「地番」が容易にわかるようにした地図です。当館では、株式会社ゼンリンが刊行する県内のブルーマップを収集しています。

現在ブルーマップが発行されている県内の地域は、宇都宮市、足利市、栃木市、小山市です。ブルーマップに類する地図が発行されていない地域の「公図」情報をお求めの場合は、法務局へお問い合わせください。

○地形図【291/1184～1187】など(館内)

縮尺が20万分1よりも大きい一般図を指すことが多いですが、狭義には、国土地理院が発行する縮尺1万分1、2万5千分1、5万分1シリーズの図を指します。

当館では、国土地理院発行の日本全国の5万分1地形図を所蔵しているほか、栃木県内の2万5千分1及び5万分1地形図を中心に所蔵しています。

◆過去、全国のどの地域について、いつ地形図が発行されたのかを知るには、国土地理院ホームページで公開されている「図歴」を確認します。図歴では、国土地理院の前身の1つである陸地測量部時代からの地形図・地勢図の発行年を地域ごとに確認できます。

・「地形図・地勢図図歴」(国土地理院)

<<https://mapps.gsi.go.jp/history.html>>

○その他

・路線価図

道路(路線)に面する標準的な宅地の1平方メートルあたりの価格(路線価)を地図上に記したものです。

当館では、大蔵財務協会が毎年発行する『財産評価基準書 関東信越国税局管内 路線価図』のうち、県内各地域の路線価図を収集しています。平成27年度以降のものは国税庁のホームページでも閲覧できます。

<<https://www.rosenka.nta.go.jp/>>

・土地分類基本調査図

土地利用の現況、土地の自然条件(地形、表層地質、土壌など)などを調査する土地利用基本調査の成果物です。

当館では、『土地分類図(栃木県)』(縮尺20万分1)や全国の『50万分の1土地分類図 復刻版』(表層地質図・地形分類図・土壌図)を所蔵しています。国土交通省の運営するGISホームページでも閲覧できます。

<<https://nlftp.mlit.go.jp/>>

○《関連分野の分類記号》

※背ラベルの1段目の数字です。

県内各地域の一般的な地図は、以下の分類で整理されています。

T290.3	栃木県の地図
T291.3	宇都宮・河内地方の地図
T292.3	上都賀地方の地図
T293.3	芳賀地方の地図
T294.3	下都賀地方の地図
T295.3	塩谷地方の地図
T296.3	那須地方の地図
T297.3	安蘇・足利地方の地図

特定主題の地図については、その主題の分類の位置にある場合があります。

(例)『土地分類図(栃木県)』

⇒ T613(土壌・土性調査)

3. 時代や地域ごとに調べる

地図を時代や地域ごとに調べる時には、以下の方法があります。

○2万分1迅速測図の活用 <明治13～19年頃>

陸軍参謀本部が明治13年～明治19年に測量を実施し、作成した「第一軍管地方2万分1迅速測図原図」は当時の土地利用分類を調べたい時に便利です。

関東平野、房総半島の大半が含まれていますが、栃木県は栃木市や小山市など県南地域が収録されています。「第一軍管区地方2万分1迅速測図原図(農研機構)」
<<https://www.arcgis.com/home/item.html?id=a1b81aa9d0c74ab2972e4ce103197047>>

○地形図の活用 <明治30年頃以降>

国土地理院及びその前身の1つである陸地測量部が発行した地形図は、特定の時代や地域の地図を調べたい時に便利です。

当館でも栃木県内各地域の過去の地形図を一部所蔵しています。

また、国土地理院ホームページ内の「地理空間情報ライブラリー」<<http://geolib.gsi.go.jp/>>の「地図・空中写真閲覧サービス」では、地形図・地勢図等をインターネット上で閲覧できるほか、旧版地図の謄本交付申請書の作成等ができます。

○住宅地図の活用 <主に昭和50年頃以降>

住宅や商店の変化を詳しく確認したい場合は、住宅地図を年代を追って確認することがおすすめです。

ただし、住宅地図の発行開始時期は、地域によって差があります。当館の所蔵のうち最古の住宅地図は、宇都宮市の市街地を収録した『宇都宮市住宅明細地図』(日本地図編集社 1958年)です。

他の地域については、より後の時代(多くは昭和50年代)に発行された資料からの所蔵となります。

◆当館所蔵の住宅地図の一覧は、3階地域資料室で確認できます。カウンター職員にお申し出ください。

○自治体史等の活用

総合的な歴史の記録である県史、市町村史の中には、入手困難な地図資料を収録しているものがあります。

<資料(例)>

・『栃木県史 史料編 近世1』(栃木県 1974)

【T209/24/3.7D】<地公>

⇒付録:『下野国宇津宮城下之図』

松平忠弘時代(1668～1681年)の宇都宮城下図

・『宇都宮誌』(下野史談会 1926)

【T211/17/B】<地公>(館内)

⇒付録:『栃木縣宇都宮市全図』

大正15年4月現在、縮尺1万八千分1

○その他一利用頻度の高い地図資料一

・『市町村要覧』【T350/22/1～138】<地公>(館内)

昭和20～30年代にかけて、市町村行政の基本的事項を調査・記録した資料。冒頭部分に各自治体の地図が付されている。

・『明治大正日本都市地図集成』(地図資料編纂会/編 柏書房 1986) 【290.3/96】<調査>(館内)

全国73都市の明治・大正期の地図を集約し復刻した資料。栃木県では、宇都宮市(1926年)、栃木(1906年)を収録。

4. 栃木県立図書館貴重書画像データベース

3階地域資料室で提供している「栃木県立図書館貴重書画像データベース」では、江戸時代から昭和前期に作成・発行された絵図や地図を閲覧・複写することができます。

<収録されている資料(例)>

・『栃木県地番図』

昭和初期の県内都市部の地番を知ることができる。

・『宇都宮市火災保険図(火保図)』(1954年)

戦後宇都宮中心部の地番を知ることができる。

・『下野国全図』(1902年)

下野新聞第5千号附録とされる栃木県の15万分1地図。

◆利用をご希望の場合は、3階地域資料室カウンターまでお申し出ください。

5. 関係機関

・国土交通省国土地理院

〒305-0811 茨城県つくば市北郷1

<<http://www.gsi.go.jp/>>

国土交通省設置法及び測量法に基づいて測量行政を行う機関。旧版地図の謄本交付を受けられるほか、地図や測量に関する一般的な相談・質問を受け付けている。

代表 TEL:029(864)1111

相談・質問 TEL:029(864) 4462 (広報広聴室)

※国土地理院ホームページ内の「ご質問・ご意見」に問合せフォームあり。

<<http://www.gsi.go.jp/contactTop.html>>

・国立国会図書館 地図室

〒100-8924 東京都千代田区永田町 1-10-1

<<https://www.ndl.go.jp/jp/tokyo/map/index.html>>

明治以降の国内外の一枚ものの地図(約48万枚)と住宅地図(約6万冊)、その他主な地図帳や地図に関する図書などが利用できる。

◆各機関の利用方法等の詳細は、それぞれのホームページをご参照ください。



栃木県立図書館では、さまざまなテーマや課題に関する資料・情報の調べ方、入手方法に関する相談に応じています。お気軽にご相談ください。

栃木県立図書館 調査相談課

レファレンスサービス担当

火-金 9:00-19:00 土日祝 9:00-17:00

〒320-0027 栃木県宇都宮市塙田1-3-23

URL : <http://www.lib.pref.tochigi.lg.jp/>

TEL : 028-622-5112 FAX : 028-624-7855

E-Mail : chousaka@lib.pref.tochigi.lg.jp